

## 「放送システムに関する技術的条件」のうち 「FM 同期放送の技術的条件」の検討の進め方

「放送システムに関する技術的条件」(諮問第 2023 号)のうち「FM 同期放送の技術的条件」について、委員会が必要とする情報を収集し、委員会の検討を促進させるために「FM 同期放送作業班」を設置し、調査することとする。

### 1. 検討の背景

災害時におけるラジオの重要性が増す一方で、コミュニティ放送局の急増や平成 26 年 4 月に制度化された FM 補完中継局の全国的な置局等により、FM 放送用周波数のひっ迫は深刻化しており、FM 放送局への新たな周波数割当ては困難な状況になりつつある。こうした FM 放送用周波数のひっ迫解消のため、放送波を精密に管理することで同一周波数の利用を可能とする同期放送技術の普及が期待されている。

FM 放送の同期放送についてはこれまでも検討がなされてきたが、数 W 程度の小規模送信所での同一周波数利用を想定したものであり、また、送信所局間の同期手法が繊細かつ高度であることから、同期放送による等電界地域での音質劣化の低減などが課題とされてきた。

しかし、近年のデジタル技術の進展により、変調器のデジタル化や GPS などを用いた高精度な同期手法が比較的容易に実現できる環境となったことで、こうした技術を活用した品質の高い同期放送システムと干渉要因となる等電界地域における測定手法や調整手法について技術基準を検討することが求められており、平成 29 年度から平成 30 年度にかけて「FM 同期放送の導入に関する技術的条件の調査検討」を実施した。

このような背景を踏まえ、kW 級の大規模送信所にも導入することができ、高効率な周波数利用と聴取者に対するシームレスな受信環境の提供が可能な FM 同期放送の導入を図るため、必要な技術的条件の検討を行う。

### 2. 調査内容

平成 18 年 9 月 28 日付け諮問第 2023 号「放送システムに関する技術的条件」のうち「FM 同期放送の技術的条件」

### 3. 作業班の設置要綱等

別紙 1 及び別紙 2 のとおり。

### 4. 今後の想定スケジュール

別紙 3 のとおり。

### 5. 一部答申を予定する時期

令和 2 年 2 月頃。

## FM 同期放送作業班 設置要綱

放送システム委員会における「FM 同期放送の技術的条件」に関する検討に必要とする情報を収集し、技術的条件についての調査を促進させるために「FM 同期放送作業班」を設置することとする。

### 1. 作業班の運営等

- (1) 作業班の会議は、委員会主査が指名した者により構成し、主任がこれを招集する。
- (2) 作業班には主任代理を置くことができ、主任が指名する者がこれに当たる。
- (3) 主任代理は、主任が不在のとき、その職務を代行する。
- (4) 主任は、作業班の調査及び議事を主宰する。
- (5) 主任は、会議を招集する時は構成員にあらかじめ日時、場所及び議題を通知する。
- (6) 特に迅速な調査を必要とする場合であって、会議の招集が困難な場合、主任は電子メールによる調査を行い、これを会議に代えることができる。
- (7) 主任は、必要があるときは、会議に必要と認める者の出席を求め、意見を述べさせ、又は説明させることができる。
- (8) 作業班において調査された事項については、主任がとりまとめ、これを委員会に報告する。
- (9) その他、作業班の運営については、主任の定めるところによる。

### 2. 会議の公開

会議は、次の場合を除き公開する。

- (1) 会議を公開することにより当事者又は第三者の権利、利益や公共の利益を害する恐れがある場合。
- (2) その他、主任が非公開とすることを必要と認めた場合。

### 3. 事務局

作業班の事務局は、情報流通行政局放送技術課が行う。

情報通信技術分科会 放送システム委員会  
FM 同期放送作業班 構成員

(五十音順・敬称略)

	氏名	所属機関・役職
主任	都竹 愛一郎	名城大学 理工学部 電子電気工学科 教授
	岩下 裕孝	日本通信機(株) 執行役員 技術部主管部長
	岩田 昭光	(株)NHK テクノロジーズ ファシリティ技術本部 送受信センター ソリューション技術部(公共業務) 専任部長
	乙坂 修	(株)日立国際電気 プロダクト本部 放送プロダクト部 主任技師
	川島 修	(株)エフエム東京 総務局 技術部 技術部長
	小泉 悟	(一財)道路交通情報通信システムセンター システム運用部 部長
	齋藤 健太郎	東京工業大学 環境・社会理工学院 助教
	塩山 雅昭	(株)TBS ラジオ 経営企画局 技術部長
	鈴木 健児	日本放送協会 技術局計画管理部 副部長
	寺嶋 正紀	パナソニック(株) オートモーティブ社 インフォテインメントシステムズ事業部 グローバル基盤技術開発センター システム開発部
	藤井 雅弘	宇都宮大学大学院 工学研究科 准教授
	古川 洋	ソニーホームエンタテインメント&サウンドプロダクツ(株) V&S 事業本部 商品設計部門 共通設計部 エレクトリカルマネージャー
	堀越 康幸	(株)ラジオ高崎 技術部長

(以上 14 名)

## 今後のスケジュール

年月	分科会・委員会	作業班
令和元年 5月	○情報通信審議会 情報通信技術分科会(第142回) ・検討開始の報告	
6月	○放送システム委員会(第67回) ・検討事項・進め方、作業班の設置	
7月		○作業班(第1回) ・調査事項・進め方の検討 ・技術試験事務の結果報告
9月		○作業班(第2回) ・FM同期放送の要件の整理
10月		○作業班(第3回) ・FM同期放送の技術的条件の検討 ・報告書(案)骨子提示
12月	○放送システム委員会(第xx回) ← ・作業班調査報告 ・委員会報告案の <b>パブコメ開始</b> (募集期間約1か月)	○作業班(第4回) ・報告書(案)の取りまとめ
令和2年 1月		
2月	○放送システム委員会(第xx回) ・パブコメの結果 ・委員会報告とりまとめ  ○情報通信技術分科会 ・一部答申審議	